

# 認定看護師便り

## Vol.31

手術室で  
呼吸器外科医  
麻酔科医  
臨床工学技士  
看護師による  
大量出血シミュレーション  
を実施しました。



文責 濱崎 弘子



準備



ブリーフィング



着替えてスタンバイ



シナリオ確認



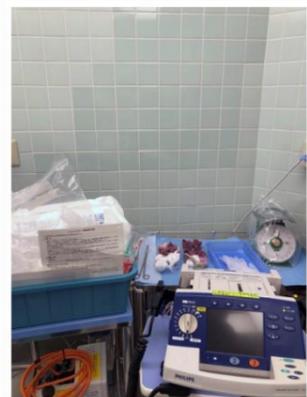
タイムアウト



胸腔鏡下で剥離中  
**肺動脈本管損傷**



開胸止血操作へ  
指揮命令系統  
**確立**



DC 準備



輸血準備

## デブリーフィング

### 術者

- 命綱である吸引が 1 本効いてなかった。必ず術前チェックすること。
- 下葉は血管鉗子で止血できるが、左上葉はセブンの準備が必要。
- 知識を供えて手術について欲しい。

### 麻酔科医

- 出血点がすぐわかり、循環動態が安定していたが、逆の時もある。薬剤準備、CV 挿入のために、エコー準備などすぐできるようにして欲しい。
- 器械出し看護師が、背中側から渡している場面があった。基本は前から渡すように。

### 看護師

- 人員が多く集まるため、誰に何を報告したり依頼したりしているのかわかりにくかった。「〇〇さんガーゼを下さい」「はい、ガーゼ 50 枚出します」と意思表示をする。
- 輸血用血液の量、所在がわかりにくかった。どこに何が何単位あるのか表示する。
- **まだ大量出血に遭遇したことがないので、イメージできた。**



輸血状況報告



2 3%の出血で  
**止血完了**



デブリーフィング